



環境経営の推進に向けた環境管理施策の充実について

当社は、このたび、環境経営を一層推進していくため、①「『エネルギーグループ環境管理要領』の制定」、②「環境管理データ集計システムの開発・導入」、③「環境教育用eラーニングの導入」を行いましたのでお知らせします。

当社では、環境問題への取り組みを企業の社会的責任（CSR）における重要な要素と位置付け、「エネルギーグループ環境ビジョン」^{*1}および「中国電力環境行動計画」^{*2}に基づき、環境に配慮した事業活動を積極的に展開する環境経営を推進しています。こうした中、今回の取り組みは、環境経営を推進していくうえで重要な環境マネジメント面の施策として、昨年度から導入に向け検討を進めてきたものです。

今後も、引き続き、環境経営の向上に資する各種施策について検討を行うとともに、社員一人ひとりが“環境を大切に作る心”を持って、持続的発展が可能な社会の実現を目指してまいります。

【施策の概要】

1. 「エネルギーグループ環境管理要領」の制定

本要領は、中国電力（エネルギー）グループが一層の総合力を発揮して、事業活動に伴う環境負荷の低減を図っていくことを目的に、グループ全体の環境管理の実施手順を明確化するとともに、グループ各社における環境管理のPDCAサイクル（P：計画，D：実施，C：点検・報告，A：見直し）の仕組みを新たに定めたものです。

今後、グループ各社が本要領に基づいて環境マネジメントシステムの充実・強化を図り、グループ一体となった環境経営を更に推進してまいります。

（参考）「エネルギーグループ環境管理要領」の骨子は別紙のとおり

2. 環境管理データ集計システム（愛称：「^{イーイー}EE-^{ボックス}box^{*3}」）の開発・導入

当社では、有限な資源の有効利用の促進、事業活動に伴う環境負荷の低減などを目的に、従来からエネルギー使用量や廃棄物発生量、環境会計情報などの環境管理データの把握・集計を行なっておりますが、このたび、各事業所から報告される環境管理データを自動で集計するシステム（愛称：「EE-^{ボックス}box」）を開発し、本年度より全社に導入しました。

本システムの導入により、データ集計およびデータ管理の効率化を図るとともに、事業所毎に策定する「環境方針」の表示機能や社内外の環境に関するトピックス・情報などを一元的に管理できる機能を付加することで、環境経営の推進に役立つものとしています。

3. 環境教育用 e ラーニングの導入

当社では、従来から環境教育の重要性を認識し、社員一人ひとりが職場や日常生活において環境に配慮した取り組みが実践できるよう、グリーントレーナー制度^{※4}による環境教育や環境法令に関する実務者教育などを実施しています。

このたびの環境教育用 e ラーニングの導入は、これまでの環境教育を補完するものとして、社員がいつでも各自のパソコンを使用して環境教育を受講できる仕組みを整備し、社員一人ひとりの環境意識を一層高めていくことをねらいとするものです。

教材の内容は、私たちの地球を取り巻く地球温暖化をはじめとする様々な環境問題の概要と当社事業の関わりなどについて、図や音声を多用してわかりやすく解説するとともに、理解度を確保するための練習問題、用語の解説、アンケートを収録しています。(学習時間：約90分)

※1 「エネルギーグループ環境ビジョン」

中国電力（エネルギー）グループでは、平成15年9月、グループ共通の環境基本方針と環境行動指針を定めた「エネルギーグループ環境ビジョン」を制定するとともに、グループ各社の環境管理推進者（部長クラス）を委員とする「エネルギーグループ環境委員会」を設置しました。また、平成16年10月には具体的な環境負荷低減を目指した「グループ環境管理目標」を設定して、環境問題への取り組みを推進しています。

※2 「中国電力環境行動計画」

環境問題の解決に向けた事業者の自主的な取り組みの重要性に鑑み、平成5年に策定した当社の環境に関するボランティアプランです。

本行動計画では、当社の事業を取り巻く様々な環境問題に積極的に対応していくための具体的な行動指針や環境管理目標などを定めています。

※3 「EE-box」

エンバイロメント
EnerGia Environment-box の略、Environment = 「環境」。

※4 「グリーントレーナー制度」

各事業所に配置する環境教育リーダー（グリーントレーナー）を通じて、全社員を対象に環境教育を行う制度です。

グリーントレーナーは、社員100人程度に対して1名の割合で配置しています。
(現在約200人を配置)

以 上

「エネルギーグループ環境管理要領」の骨子

- ・「エネルギーグループ環境管理要領」に定める主な内容は以下のとおりです。
- ・グループ各社における環境管理の実施手順には、3つのタイプの環境マネジメントシステムを設けて、各社それぞれが事業活動に伴う環境負荷の度合いなどを踏まえて、タイプを選択します。

条 項	取り組みの内容																				
第1章 総則	・グループ環境管理の目的 など																				
第2章 体制と任務	・グループ環境管理の統括者（環境管理統括者）の選任 ・グループ環境管理の審議機関（エネルギーグループ環境委員会）の役割 など																				
第3章 計画	・「エネルギーグループ環境ビジョン」および「グループ環境管理目標」の策定手順 など																				
第4章 実施	・グループ各社における環境管理の実施手順 (具体的な手順は、「エネルギーグループ各社の環境管理の実施要項」として別表に示す)																				
第5章 点検・報告	・グループ環境管理の「実施状況の点検」および「実施結果の報告」に関する手順																				
第6章 見直し	・グループ環境管理の見直しに関する手順																				
別表	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーグループ各社の環境管理の実施要項 <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理の実施要項 <table border="1"> <thead> <tr> <th>条 項</th> <th>取り組みの内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体制と任務</td> <td>・環境管理推進者の配置 ・環境委員会の設置</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>・環境方針および環境管理目標の設定 ・環境管理計画の策定</td> </tr> <tr> <td>実施</td> <td>・環境管理の実施（環境管理マニュアルの作成） ・環境教育の実施</td> </tr> <tr> <td>点検・報告</td> <td>・環境管理実施状況の点検 ・環境内部監査</td> </tr> <tr> <td>見直し</td> <td>・環境管理の見直し</td> </tr> </tbody> </table> 2. 環境管理の実施適用範囲（運用タイプ） <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイプ</th> <th>概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイプⅠ</td> <td>・簡易版の環境マネジメントシステムを構築して環境管理を実施する。</td> </tr> <tr> <td>タイプⅡ</td> <td>・ISO14001に準じた環境マネジメントシステムを構築して環境管理を実施する。</td> </tr> <tr> <td>タイプⅢ</td> <td>・ISO14001の認証取得を行い、環境管理を実施する。</td> </tr> </tbody> </table> 	条 項	取り組みの内容	体制と任務	・環境管理推進者の配置 ・環境委員会の設置	計画	・環境方針および環境管理目標の設定 ・環境管理計画の策定	実施	・環境管理の実施（環境管理マニュアルの作成） ・環境教育の実施	点検・報告	・環境管理実施状況の点検 ・環境内部監査	見直し	・環境管理の見直し	タイプ	概 要	タイプⅠ	・簡易版の環境マネジメントシステムを構築して環境管理を実施する。	タイプⅡ	・ISO14001に準じた環境マネジメントシステムを構築して環境管理を実施する。	タイプⅢ	・ISO14001の認証取得を行い、環境管理を実施する。
条 項	取り組みの内容																				
体制と任務	・環境管理推進者の配置 ・環境委員会の設置																				
計画	・環境方針および環境管理目標の設定 ・環境管理計画の策定																				
実施	・環境管理の実施（環境管理マニュアルの作成） ・環境教育の実施																				
点検・報告	・環境管理実施状況の点検 ・環境内部監査																				
見直し	・環境管理の見直し																				
タイプ	概 要																				
タイプⅠ	・簡易版の環境マネジメントシステムを構築して環境管理を実施する。																				
タイプⅡ	・ISO14001に準じた環境マネジメントシステムを構築して環境管理を実施する。																				
タイプⅢ	・ISO14001の認証取得を行い、環境管理を実施する。																				